



CLC Protein Workbench

Release Note

version 5.5

この Release Note は CLC Protein Workbench version 5.5 により新たに搭載された機能、並びに不具合の修正についてお知らせするものです。Protein Workbench の使用方法や各機能の詳細についてはマニュアルをご参照ください。

機能面での改良,拡張:

- **BLAST ツールの改良**

- 新しい BLAST マネージャーにより、ローカル BLAST データベースの管理が簡便になりました。
- 大規模なデータを用いた際、より安定して BLAST (ローカル BLAST、NCBI への BLAST) を行えるように実装方法の改良。
- ローカル BLAST の操作性の改善。
- BLAST ツールによる SNP アノテーション。
※ 旧 BLAST データベースからの移行については、当社ホームページ、またはマニュアルをご覧ください。

- **制限酵素切断部位のレイアウト改良**

- 直鎖状ビュー: ラベルの表示について、制限酵素部位の切断部位が重なっている場合に、それを区別させる“Stacked”を追加。
- 環状ビュー: アノテーションと制限酵素切断部位をできるだけ配列の近くに放射線状に表示させる“Radial”が追加。

※新しいクローニングの詳細を説明したチュートリアルをご用意しています。詳しくは当社 Web ページまで。

- **アノテーションレイアウトの改良**

- 直鎖状ビュー: アノテーションと制限酵素部位を別のレイヤーで表示可能。
- 環状ビュー: アノテーションと制限酵素切断部位をできるだけ配列の近くに放射線状に表示させる“Radial”が追加。

- **サイドパネルよりモチーフ検索が可能に**

- サイドパネルで定義したモチーフを追加可能。
- 独自のモチーフを追加したい場合も、モチーフリストより追加可能。
- アノテーションテーブルが配列リスト、BLAST 結果、配列のアライメントで利用可能になりました。
- 監査のため、マニュアルで編集した配列が配列のアノテーションとして記録されるようになりました（これは Preference 画面より選択する必要があります）。
- 制限酵素のデータベースが拡張可能です（ただし、マニュアルによるデータベースファイルの編集が必要）。
- コドン頻度表を拡張可能（ただしマニュアルによる編集が必要）。
- エクスポート可能なフォーマットとして、タブ区切りが加わりました。
- サイドパネルの設定のインポート、エクスポートの改良。
- これまでは物理メモリの 75%がデフォルトのメモリ割り当てでしたが、これが 50%となりました。また最大のメモリの割り当ても 50GB までとなります。

不具合の修正：

- 配列の統計値に関するレポートで分子量に関する計算に問題があり、この不具合を修正しました。また 1 本鎖と 2 本鎖の両方の分子量を記載しています。
- その他、細かなバグの修正。

各バージョンごとの機能拡張、不具合の修正については以下のウェブサイトにてご確認ください。

<http://clcbio.com/index.php?id=134>（英語）

本件に関するお問い合わせはご購入の販売店様までお問い合わせください。

以上

株式会社 CLC バイオジャパン
〒651-0088 神戸市中央区小野柄通 4-1-22
アーバンエース三宮ビル 10F
Tel:078-221-6501
Fax:078-271-8531
www.clcbio.co.jp